

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2013年7月25日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/22	0	19.6	33.13	0	0	0	10	0	
太平洋中部 11.0		10	18.3	33.66	0	0	0	0	50	Dm40, Dro10
		20	14.7	33.70	0	0	10	0	20	Dm20
		30	12.3	33.98	0	0	30	0	10	Dm10
虻田	7/23	0	21.4	31.42	0	0	0	0	60	Dro60
噴火湾東部 11.0		5	20.4	31.50	0	0	0	0	30	Dro30
		10	18.5	31.78	0	0	0	0	0	
		15	16.6	31.95	0	0	0	10	0	
		20	14.3	32.38	0	0	0	30	0	
		25	11.1	32.50	0	0	50	160	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシ フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシ アキュミナータ  
 Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii  
 Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシ ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシ トリポス  
 Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシ ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシ コウダータ  
 Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシ インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシ ルジエイ  
 Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシ ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

水温は7月下旬は、太平洋中部では12.3~19.6°C、噴火湾東部では11.1~21.4°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2013年7月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.0	7/10	0	18.2	32.22	0	0	0	20	60	Dro50, Dm10
		10	14.1	33.20	0	0	0	0	10	Dro10
		20	8.4	32.96	0	0	210	30	10	Di10
		30	8.1	33.30	0	0	40	0	0	
虻田 噴火湾東部 16.0	7/8	0	18.5	31.38	0	0	0	90	0	
		5	16.0	31.77	0	0	0	20	0	
		10	15.3	31.99	0	0	0	0	0	
		15	14.3	32.15	0	0	0	20	0	
		20	12.0	32.68	0	0	60	150	0	
25	10.6	32.69	0	0	110	180	0			
八雲 噴火湾西部 15.5	7/16	0	20.3	31.30	0	0	0	40	10	Dro10
		5	15.9	32.08	0	0	0	30	10	Dro10
		10	14.0	32.34	0	0	0	30	0	
		15	9.3	32.39	0	0	20	110	20	Dn20
		20	6.1	32.55	0	0	10	170	60	Dn60
		25	4.9	32.71	0	0	0	70	80	Dn80
30	4.4	32.83	0	0	0	0	0			
森 噴火湾西部 17.0	7/9	0	18.6	31.18	0	0	0	420	0	
		10	15.9	31.79	0	0	10	20	0	
		20	15.0	32.22	0	0	0	30	0	
		30	6.3	32.48	0	0	0	60	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ  
 Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii  
 Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
 Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
 Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
 Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は7月上・中旬は、太平洋中部では8.1~18.2°C、噴火湾東部では10.6~18.5°C、噴火湾西部では4.4~20.3°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)